

意見のまとめ

1-1 設計全体

《要点》

- ・車出入りへの配慮（イベント時の混雑防止、搬入の容易さ）
- ・将来の変更に対応出来る、余裕のある設計
- ・気候風土を理解し、ランニングコストを抑えた設計
- ・UD対応（階段、扉、トイレ）
- ・団体利用者に耐えうるWC便器数の設定

(1) 動線／車／搬入

- ・人、車、建物内の動線を分かりやすく、安全に計画してほしい。
- ・大勢が利用し、敷地から出るのにも混雑が予想される会場は出かけるのが億劫になる。車の出入りがスムーズになるように計画してほしい。
- ・駐車場は、車がスムーズに駐車できるようにしてほしい。
- ・一方通行の道路からの搬入路では不便ではないか？

(2) デザイン

- ・デザイン重視ではなく、雨・雪対策が施され、利用する人が活用しやすい機能的な施設にしてほしい。
- ・美しく、自慢できる姿（デザイン）／意匠に力やコストかけるより、中身の充実が重要。シンプルがよい。
*両意見は矛盾しない、要望を伝えれば両立できるはず（ファシリテータ）”
- ・何か一つ特徴を創る。例：ホールの売りが必要。

(3) コスト、規模

- ・ランニングコストのかからない建物。
- ・完成後にも意見や要望にも答えられるコストに余裕があるようにして欲しい
→できて、使ってから感じるものがあるとしても、お金がないために、意見は反映されないため
- ・曲面を多用した建物は避けて欲しい。外のデザインにお金をかけるよりも、利用者が利用しやすい施設となるように、建物の中にお金をかけてほしい。
- ・将来の変更や新たなニーズに対応して整備できる余裕のある設計を望む。出来てからでは対応し難い。

(4) 地域特性

- ・但馬の気候風土に適した建物（気候のことがわかっている設計士にお願いしたい。）
- ・台風、豪雪、川が氾濫するなどの災害時でも安心できる計画
- ・地域の環境の特性を理解のうえ設計する。
例：雪対策、湿気対策が重要。雪解け水が凍り雨漏りしないように対策する。
例：木の殿堂、おおやホールなど対策が不十分。

(5) UD／段差／扉／トイレ

- ・ユニバーサルデザインの考え方を大事にする。
例：車いす使用者が入りやすく移動しやすい設計にする。
例：階段やスロープの傾斜を緩くする配慮。
例：障害者が使いやすいトイレ
- ・バリアフリーやUDの考えを取り入れてほしい。
- ・1～2段など、小さな段差を設けず、スロープに（裏動線も）。荷物を搬入する時に1段でもあると、台車で荷物を運ぶのが大変。
- ・階段の蹴上は低く、踏面は広くし、全体的な勾配は緩やかに。階段のスペースが広がってしまうが、使い勝手が良くなる。
- ・階段の傾斜などは、大きな模型（モックアップ）を作成して、参加者に実際体験してもらったり、設計予定と同じ寸法のところで体験するのも良い。
- ・ドアは開き戸だと人とぶつかる可能性もあるため、引き戸が良い。また、引き戸の方が使いやすい。ただし、防音性が必要なところは、開き戸でも仕方ない（防音性を重視）。
- ・トイレ全体で和式便器が1～2か所あると嬉しい。洋式便器に座りたくない人もいる。
- ・トイレの個室は空いているところがすぐに分かるようにしてもらいたい。
- ・団体で来る時に対応できるように配慮する
例：トイレの数（特に女性の場合は短い休憩時間の間では混雑してしまうため）
例：幼児が多数集まる場合、20～30代の若者が多数集まる場合、高齢者が多数集まる場合。

1-2 図書館

《要点》

- 動と静を分けた空間構成
 - ①にぎわい空間（子供のスペース、障害者の朗読スペース）
 - ②しずかな空間
- 子供と一緒にいなくても気配を感じられる空間構成
- 学生の勉強空間（遅い時間まで利用可能）
- 居間的な空間（くつろぎ、井戸端会議）
- 八木側を望む読書スペース
- 郷土史コーナー
- 340㎡は狭いのではないか
- サービスの充実（自動返却ポスト、CD、電子書籍、蔵書数）
- 常駐司書

（1）使い方

- 障害者の方へ対面式の朗読スペースがあると良い。
- 親子コーナーなどの読み聞かせコーナーの充実。
- 図書館に声や音を気にしなくて良い、子供の居場所がほしい。
- 親子で使う場合、図書館＋遊具があってもよいのでは。
- 子どもに読み聞かせができるエリアがあると良い。（子どもが多少騒いでも問題ないエリア）
- 静かに利用できる閲覧スペースが欲しい。今の図書室ではおしゃべりをしにくる人もいて、静かに本を読む環境になりにくい。
- 図書館に勉強スペースがほしい。
- 高校生が使うことを考えるとラーニングスペースをもっと広くする。
- 遅い時間でも勉強できるスペースがあると良い。図書館で本が借りられなくても、机と椅子があれば勉強できる。
- 図書館でのくつろぎスペースがほしい。
 - 例：景色を眺ながらウトウト出来るようなチェアスペース
 - 例：DVD・音楽などを聴けるスペース
- 井戸端会議大歓迎の普通じゃない図書館がよい。

（2）空間構成

- 八木川が望める読書コーナー。
- 図書館では、静かな勉強スペースとくつろぎのスペースを分けてほしい。
- 大人と子供＋親のスペースを分けてもよいのではないか。
- 本を読む静かな所と分けて、交流できるスペースがあるとよい。
- 一緒に居なくても、子供の動きを感じられる空間構成になっていると良い。
- 図書館は、分棟にしてもよいのではないか。

（3）蔵書、提供サービス

- 郷土の作家や名士コーナーがあるとよい。
- 郷土史の充実。
- 自動返却ポストの設置＝先端技術。
- 音楽、映像のCDも置き貸出しする。
- 紙の本だけでなく、タブレット端末を利用した電子書籍も考えられる。
- 開架図書の充実
- 蔵書を増やしてほしい。
- 閉架の図書スペースを置き、図書館の本の整備が必要
- 古い図書を販売しその資金で新しい図書を購入すれば、読みたい本を買いたい人のニーズと、新刊の充実の両方を叶えることができる。
- 養父市の人口などから考え、ただ単に「増やしてほしい」ということではなく、周辺の自治体とネットワークを使った仕組みなどを構築することも考えられる。

(4) 運営

- ・常駐する司書がほしい。
- ・司書を採用する時はしっかりした司書をお願いしたい。
- ・司書は市で1人でも良いので、曜日や時間を決めて図書室にも来てほしい。
- ・運営を指定管理者に任せる方法もあると思う。
- ・利用時間をもう少し遅くまで延ばしてほしい。（今は17時閉館）

(5) 規模

- ・あの敷地で図書館が340㎡なのは狭い。もう少し大きくしてほしい。
- ・全体の中で図書館スペースは適切か。
- ・本が増えることを見越した施設計画。（初めから大きい方が良いのではないか）

(6) その他

- ・色々な文化を取り入れる。
- ・立派でなくても、図書館の基本を忘れない図書館建設を！
- ・35億の中には、蔵書が入っているか。→入っていない。（古段館長）
- ・図書館メインではないか。
- ・朝来市の人々が来るような朝来市に負けない良い図書館にしたい。
- ・グンゼの事務所棟など、残す建物を活用（親子で読み聞かせ、中高生等の学習室など）することも考えていけると良い。

1-3 ホール

《要点》

- ・多目的な機能は使いづらいので、用途を絞った方が良い
- ・音響は良くしてほしい
- ・反射板、余裕のある舞台袖が必要
- ・空調設備、観客席は均一に、舞台裏側も効くようにしてほしい
- ・UD対応の観客席
- ・ゆとりのある客席
- ・軽食スペースがほしい

- ・魅力のあるイベント企画

(1) 全体

- ・使用目的を絞ったほうが良い。多目的な機能は使いづらい。
- ・最低限のものをキチンとつくる。

(2) 規模拡大

- ・もう少し広くしてゆとりを持たせる。現状880席が、新ホールの計画では650席で縮小されるが、養父市の人口に対して小さいのでは。将来の規模増要望に対応できるよう、例えば可動イスが置けるとか、立ち見ができるフロアを作って規模の拡張ができるようにする方法もあるのでは。

(3) 音響

- ・そのようなスペースがあれば、子どもたちが遊んだりいろんな使い方ができる。
- ・音楽活動（カラオケ）は、音響が良いものが有り難い。
- ・既存市民会館の音響が悪い、照明が古い
- ・音響の良いホールにしてほしい。
- ・音楽のための音響で、演奏する人が心地よい音響設備が良い。

(4) 舞台設備

- ・ホールの舞台機構、床機構、吊り設備はどんな感じか
- ・反射板がほしい
- ・舞台の袖が広い方が良い。
- ・観客から見えない舞台裏も同様で、待機スペースが欲しい。

(5) バリアフリー導入

- ・現在は車いす使用者の席が限られているが、そのようなフロアがあれば自由に使える。バリアフリーの考え方が必要。

(6) 空調

- ・座席によっては、寒い場所、暑い場所などムラがなるべくないように工夫が必要。
- ・今の裏側は扉を開けると風が入って来て寒い。観客側（座席側）だけでなく、スタッフ側も対応してもらいたい。

(7) 座席

- ・ゆったりした座席が良い。今は狭い。
- ・質の良い座席（2時間座っていても、お尻が痛くならないもの）を設置してほしい。

(8) その他

- ・ビール、珈琲、ワイン、ノンアルコール系などを休憩時間に楽しめるように、軽食が出来るスペースがほしい。（隣の人がアルコール等を飲むと臭くて気分を害するので、やめてほしい。という意見もあり）
- ・演奏する人が使いやすいホールに。

(9) 運営

- ・ホール：田舎で聴くことの出来ない音楽や舞台を、年1回は聴いたり、観たりしたい。
- ・多数の観客が集められる魅力あるコンサート、イベントの企画が必要。
- ・生涯学習のような、続けて楽しめるコンサートやイベント。

1-4 公民館

《要点》

- ・会議室の利用イメージ（講座の開講、100～150名での利用）
- ・音楽室の防音性能への配慮
- ・調理室への動線配慮
- ・使用料を安く（県立は安い）

(1) 会議室／和室／音楽室／調理室

- ・講座の開けるような部屋がほしい。
- ・100～150人収容できる大きな会議室があると良い。
- ・小さな会議室を何部屋も作らず、楽屋や中・大会議室があると良い。
- ・小さな会議室は周辺の行政区にある施設（公民館、公会堂など）を使わせてもらうことも考えられる。
- ・靴を脱いでくつろげる場所がほしい。畳の部屋が必要。和室の雰囲気は大事。
例：和室の部屋にちゃんと障子がつけてある等
- ・気兼ねなく音楽活動ができる防音環境を整えてほしいが、手頃な料金設定としてほしい。
- ・防音の部屋が欲しい。活動でピアノを使うこともあるが、隣の部屋で会議などがあると使いにくい（使えない？）。
- ・調理室について使いやすさ、動線を考えた配置

(2) 運営

- ・使用料を安く。（県立は安い）65歳以上は無料とか。
- ・4つの地域にある公民館の利用率が高く、運営には市民が関わっており、強みである。

(3) その他

- ・私的利用と公的利用の区分があるのはなぜ？
- ・今の駐車場は小さい。

1-5 施設 その他

《要点》

- ・絨毯を敷いたキッズスペース
- ・カフェの併設
- ・Wifi 環境の整備

- ・絨毯を敷いたキッズスペースを設けてほしい。
- ・自由におしゃべりができるスペースがあると良い。
- ・この時代、Wi-Fi 環境がないと不便。
- ・今の文化会館には“おばあちゃんのいるカフェ”があり人気がある。時々注文を間違えるがそれでも構わない。誰でも働ける施設やカフェ（店）があるとよい。
- ・カフェなどが併設されていると良い。
- ・いつも誰かがいる施設になってほしい。

1-6 公園・広場

《要点》

- ・シンボルオブジェ（大屋地域の芸術家の作成展示）
- ・ステージ等の構造物は最小にしてほしい
- ・親水空間の整備
- ・水はけの良い土壌整備
- ・子供との利用、散歩利用、読書利用
- ・公園整備より、施設整備にお金をかけてほしい

（1）構造物

- ・大屋地域には芸術家が多いので、その方達のオブジェを公園やギャラリースペースに展示してはどうか。公園にシンボリックなオブジェがほしい。
- ・ステージなどの人工物は少なめに。必要であれば、常設ではなく、仮設で設置するか、文化ホール延長の場所などの軒下の空間を利用すれば良い。

（2）土／水路

- ・雨が深い地域なので水はけの良い公園に。足元がジュークジュークになるのは嫌。
- ・農業用水路は危ないので、堤防側に移設した方が良いのではないかな。
- ・親水空間があるとよい。
- ・親水性を活かされるとよい。

（3）雰囲気

- ・晴れの日には子供と行こうと思える公園になってほしい。
- ・休日にゆったり散歩したくなる場所になるとよい。
- ・用がなくても気軽に来たい場所にしたい。
- ・普通じゃない公園がよい“暑いから行く公園”“雪だから行く”公園にしたい。
- ・養父のまちらしい気候や特性が見られる公園にしたい。
- ・単純な公園では使い難くなってしまわない。
- ・居心地の良い公園になるとよい。（ベンチがあったり、犬のフンがなく、悪い子がたむろしない）
- ・ゆっくり散歩ができ、静かに読書ができる公園が良い。

（4）その他

- ・公園スペースは小さくなくて良い。予算が少ないので、公園整備に費用をかけるより、図書館やホールの整備に費用をかけてほしい。

1-7 その他

《要点》

- 敷地外 道路の整備
- スタッフの育成
- 市民意見の反映
- 周辺のおすすめ施設

(1) まちづくり／くるまの動線

- ホールに付帯する図書館でなく、学生や市外の方も使える図書館を目指すべき。
- 現在人専用の「下町橋」を付け替えて車を通す。
- 公園の敷地を削って道路を拡幅し、車を通しやすくしたうえで県に移管する。
- 一方通行の道を運転したくない。
- 県道の一方通行を双方向にする。
- 一方通行の解除は危険。
- 周回道路が混雑しない対策が必要である。

(2) 運営

- ホールスタッフの育成方法。
- スタッフはボランティアなのか。
- 運営は、市民？NPO？行政では無理？民間委託か？

(3) 市民意見

- 市民の意見をちゃんと受け止めてくれる設計者を選んでほしい。いるか設計は有名だと思う、市民の意見に耳を傾けてくれなかった。
- 市民会議、市民ワークショップの意見が活かされる会館建設をしてほしい。
- 市民が企画、運営に携わることになるので、規模の設定は適切にしてほしい。

(4) 周辺のおすすめ施設

- 郷の音ホール（三田市総合文化センター）
→公民館が併設されている。
- 市民交流プラザふくちやま
→駅前であり、Wi-Fi環境も良い。テーブルと椅子が多く置いてあり、高校生などが勉強する等たくさんの方が利用している。
- 南但スポーツセンターの北隣にある芝生の広場
→子供たちが多く利用している。”